

ごみの分別は大丈夫ですか。

ピンクの文字がこれまでと出し方が変わった部分

環境企画課 ☎ (8 6 3) 6 6 3 2

種類	ごみの内容	出し方	注意する点	回収回数
家庭ごみ	生ごみ(水分をよく切る) 廃食用油(布や紙にしみこませる) 草木類(50cm以内にして2束まで) 衣類 紙おむつ 再資源化できない紙類(写真、内側がアルミ加工のバックなど) ゴム・ビニール製品 プラスチック容器 プラスチック製品 発泡スチロール 皮革製品 陶磁器くず ガラスくず 蛍光灯・電球など	白色半透明の指定ごみ袋(赤印刷) 透明の指定ごみ袋(緑印刷) または 白色半透明・無色のレジ袋に入れて	・ガラスくず、電球など危険なものは紙に包んでなるべく袋の中央に入れるか、レジ袋に「キケン」と書いて別に出す ・生ごみを出す際は、できるだけ水切りをする ・白色発泡トレーはスーパーなどの店頭回収に協力する	週2回
	金属類 (金属の割合が50%以上のもの)	透明指定ごみ袋(緑印刷)に入れて	・家電品の電池ははずす ・判断のつかないものは「家庭ごみ」へ ・とがったものや刃物などは紙に包んで「キケン」と書く	月1回
資源化物	空きびん ガス・スプレー缶	袋には入れず、回収箱へ 空きびんと同じ回収箱へ	・キャップははずして「家庭ごみ」へ ・中を軽くすすぐ ・火の気のない風通しの良い所で穴をあける	月2回
	空き缶 使用済み乾電池	透明指定ごみ袋(緑印刷)に入れて 透明の小袋に入れて空き缶の袋へ	・中を軽くすすぐ ・ボタン型・充電型電池は販売店へ	
	ペットボトル	透明指定ごみ袋(緑印刷)に入れて	・キャップははずして「家庭ごみ」へ ・中を軽くすすぐ ・塩化ビニール、食用油のボトルは「家庭ごみ」へ	
	古紙類 新聞・チラシ 雑誌類 ダンボール 牛乳パック	それぞれ分けて、紙ひもでしばる	・粘着テープで束ねない ・写真・防水加工紙、内側にアルミ加工された紙パックなどは「家庭ごみ」へ	
粗大ごみ		戸別の有料収集(これまでどおり)	粗大ごみ専用電話 ☎ (8 5 7) 5 3 0 0	

ごみの分別について詳しく説明した「暮らしの伝言板」を、広報3月22日号と一緒に各世帯へ配布します

いよいよ4月からごみの分別方法が変わります。ごみの出し方、各地区の収集日程をよ〜くチェックしてね！

「金属類」ガス・スプレー缶を資源化物として回収します

いままで「もやせないごみ」として出していた、シャンプーや洗剤のボトルなどのプラスチック類、せとものや割れたコップなどの陶磁器類・ガラス類、長靴やバッグなどのゴム・皮革類などは「家庭ごみ」として収集します。また、なべやフライパン、オーブントースター、小型の電気ストーブなど、見た目でも50%以上が金属なものは、「金属類」として月1回の収集になります。

「ガス・スプレー缶」は、「空きびん」の回収日に同じ回収箱に出してください。

指定ごみ袋の名称も変わります

白色半透明(赤印刷)の「もやせるごみ用」が「家庭ごみ用」に、無色透明(緑印刷)の「もやせないごみ用」が「資源化物用」と名称が

変わります。「資源化物用」は「家庭ごみ」にも使えます。また、白色半透明・無色のレジ袋は「家庭ごみ」にのみ使えます。なお、現在使用している指定ごみ袋は4月以降も使えます。

事業者のみなさんもお協力をお願いします。会社や商店、飲食店などの事業所からのごみは町内の集積所には出せません。

事業系の一般廃棄物も「家庭ごみ」「資源化物」に分別して自分で御所野事業所へ持っていか、市の許可を得た収集業者に委託するかしてください。

産業廃棄物については、これまでどおり区分は変わりません。産業廃棄物は自分で処理するか、産業廃棄物処理業者に委託してください。

新溶融炉は1,800度でごみを溶かす！

一般的な焼却炉では、800度～900度でごみを燃やしています。しかし御所野の新しい焼却炉は、無煙で火力が強いコークスという燃料を入れ、1,800度の高温でごみを溶かしてしまう方式。環境に優しくリサイクル性の高い溶融型の炉です。